

# 古紙リサイクル強化

## 西大寺工場選別、梱包の新棟整備

金属原料加工・販売の平林金属(岡山市北区下中野)は、古紙のリサイクル事業を強化している。西大寺工場(同市東区西大寺新地)に選別や梱包などを手掛ける専用棟を整備。従来は集めるだけだったが、再資源化する製紙会社などへの出荷まで一貫対応することで収益性を高め、取引拡大につなげる。

非鉄金属の選別など0平方メートルを新築。ビニールもやクリップなど不要物を取り除く選別機、段ボールや新聞紙を約1トンの立方形に固める圧縮梱包機をそれぞれ1台導入し、昨年12月から従業員3人で稼働している。能力は月1千トンの「eポスト」を設置して拠点も拡充している。

貿易摩擦の余波もあり、分別が徹底されている日本から仕入れる動きが一時活発化し、相場が高騰するなどした。

平林金属は今後、国内の製紙会社のほか、海外業者にも出荷先を広げる計画。同社は拠点の新設などで古紙の回収量も増やしていきたいとしている。

同社は1956年創業、60年設立。資本金9980万円。売上高173億円(2017年12月期)。従業員約343人(パート含む)。リサイクル工場は西大寺のほか、テレビやエアコンといった家電4品目を扱うリサイクルファーム御津(同市北区御津高津)、小型家電の港(同市中区新築港)などがある。(山本友志)



古紙加工を手掛ける専用棟に導入した選別機(左)と圧縮梱包機